

北公民館のイベント・講座（☎23・0505、ファクス 23・0566）

※各講座については、申し込み後のキャンセル・欠席は返金できません

ふれあい夏まつり

スーパーボール・ポップコーン・綿菓子・かき氷・焼きそば・わらびもちの模擬店もあるよ！

日時 7月21日(土) 午後6時～9時（雨天中止）

場所 北公民館 駐車場

内容 盆踊り・キッズダンス・パト演技など

※当日は、駐車場・臨時駐車場はありませんので、ご了承ください。



右脳トレダンス！

日時 7月24日(火)・25日(水)・31日(火)、8月1日(水)・7日(火)・8日(水)・21日(火)・22日(水)（全8回）午前10時～11時15分

場所 北公民館

定員 先着20人

対象 小学2～3年生

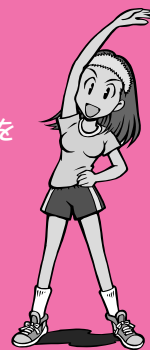
内容 ダンスで右脳トレーニング。シナプソロジー効果を体験して右脳を鍛え判断力を高める。

持物 上履き、水筒

参加費 500円

講師 赤坂由香先生

申込 7月5日(木)午前9時から



＜共通事項＞

申込方法・問合

受講料を添えて本人または家族が北公民館へ

定員に満たない場合のみ申込日の翌日から電話・ファクスでも受け付けます。

※申し込み後のキャンセル・欠席は返金できません。

あそびながら防災体験



あそぼうさい

日時 8月22日(水) 午前10時～午後4時

場所 北公民館とカップヌードルミュージアム大阪池田

定員 先着20人

対象 小学4年生～5年生

内容 北公民館で防災クイズ・ゲーム・避難所間仕切りパネル作成訓練を体験します。昼食は非常食のアルファ化米を調理します。昼食後は、北公民館からバスでカップヌードルミュージアム大阪池田の見学とマイカップヌードル作成体験をします。

持物 昼食のおかず。レトルトでも可。

参加費 400円

申込 7月10日(火)午前9時から



木の貯金箱作り

日時 7月31日(火) 午後1時～4時

場所 木根館（河内長野市）

定員 先着20人

対象 小学2～4年生

内容 木製の貯金箱を作ります。

持物 リュック・水筒・タオル

参加費 1,000円（貯金箱代・保険料込）

申込 7月4日(水)

午前9時から



夏休みのイベント・講座特集！

南公民館のイベント・講座（☎33・1764、ファクス 33・1300）

※各講座については、申し込み後のキャンセル・欠席は返金できません

1泊2日で思い出をつくろう！

友遊スタディ参加者募集 ～ふるさと再発見ツアー～

夏休みは楽しい思い出をいっぱいつくろう！和歌山県日高川町の小学生と2日間の交流を深め、阪九フェリーや海遊館の見学をして思い出を作ろう！

日時 8月2日(木)～3日(金) 午前10時30分～翌日午後5時

行先 史跡公園・海遊館・阪九フェリーなど（南公民館泊）

対象 小学3～6年生

定員 20人（申込多数の場合は抽選）

受講料 3,500円（参加費含む）

申込 往復はがきに「友遊スタディ」と明記し、①住所、②受講者氏名（ふりがな）、③性別、④学校名・学年・年齢、⑤電話番号を記入のうえ7月14日(土)必着で、〒595-0038 楠町1-7南公民館へ。なお返信用はがきにも住所・氏名を記入のこと。申込はがきは一人一枚。

申込多数の場合は、15日(日)午後2時から公開抽選します。

親子で科学を楽しもう！

わくわく科学教室 「ドライアイスであそぼう」

「ドライアイス」を使った面白い実験がいっぱい！

日時 8月5日(日) 午前10時～正午

場所 南公民館

対象 小学生とその保護者（一人でも可）

定員 申込先着50人

受講料 1人300円（教材費含む）

持物 筆記用具・上靴（小学生のみ）

講師 竹田一幸氏

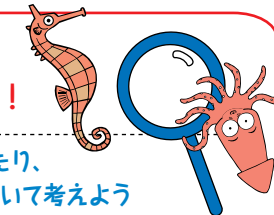
申込・問合 7月8日(日)午前9時から受講料を添えて本人または家族が南公民館へ。※定員に満たない場合のみ10日(火)から電話・ファクスでも受け付け。



夏休みは、発見と工作でワクワクしよう！ 池上曽根弥生学習館（☎20・1841）

メールアドレス：gakusyukan-moushikomi@city.izumiotsu.osaka.jp

チリメンモンスターを見つけよう！ & 間伐材で公園のベンチをつくろう！



「ちりめんじゃこ」に混じる多様な生き物を観察したり、身近な「公園のベンチ」をつかって、自然な環境について考えよう

日時 8月9日(木) 午前10時30分～正午、午後1時～2時30分

場所 池上曽根弥生学習館

対象 小学生以上

定員 各回先着20人

持物 汚れてもよい軽作業ができる服（ペンキ使用）、水筒、タオル

講師 きしわだ自然資料館

紀中森林組合

申込 電話かメールで予約

大阪の砂から宝石を探そう！

サファイアやガーネットなどの宝石を砂の中から探します。

日時 8月12日(日) 午後1時30分～2時30分

場所 池上曽根弥生学習館

対象 小学生以上

定員 先着20人

講師 濱塚 博氏（きしわだ自然資料館アドバイザー）

申込・問合 電話かメールにて予約

星を作ってみよう！ 図書館（☎32・0562）

ろう石で星の形をつくろう

日時 7月24日(火) 午後1時30分～2時30分

場所 図書館

協力 池上曽根弥生学習館

問合 図書館



今月号の
もくじ
H30.7月号



2 特集・夏休みのイベント・講座特集

7 文化フォーラム／おまつりのステージのキッズグループ募集

8 避難行動要支援者の支援制度／災害時に相互に助け合う協定

9 セーフコミュニティいずみおおつ／住宅用火災警報器を高齢者世帯へ

10 地域の絆を育む自治会／平和パネル展・平和メッセージ展

11 自治会連合会役員・自治会長が決定

12 がんばる市民公益活動補助金

13 市立病院からのお知らせ

14 介護保険からのお知らせ／あしゅびプロジェクト通信

15 高齢受給者証交付／国民年金からのお知らせ

16 高額療養費上限額が変わります／松風サロン主催の講座を開催しました

17 後期高齢者医療制度のお知らせ

18 子育て応援ひろば

21 図書館だより／ワークショップ第2弾

22 コラムスタンド／市長のうごき

23 エンジョイ！SPORTS!!

24 健康のページ／健康アップ大作戦

26 消費生活相談室

27 おおつ物語／文化財へのいざない

28 情報かわら版

35 市民レポーター始動！／イン스타그램夏のキャンペーン／元気でーす！おおつこのキャンペン

36 まちの話題

クッキングにバスツアーも！ 環境課（☎33・9289、33・9192）

夏休み親子エコクッキング

日時 8月3日金 午前10時～午後1時
場所 総合福祉センター（市役所北隣）
対象 小学1～6年生と保護者2人1組のペア
定員 先着12組（24人）※昨年度未受講者優先
メニュー 【缶たん!? 時短! 絶品!! サマーランチ】
 ・缶たん!? ひまわりオムライス
 ・パパッとおまかせ de ポトフ
 ・ふるふるももみみフルーツゼリー
受講料 1組500円
講師 ㈱大阪ガスクッキングスクールインストラクター
申込・問合せ 7月11日水午前9時から環境課で電話受付 ※定員に達しなかった場合は、13日金午前9時から既受講者の申し込みを受け付け

夏休み宿題＆自由研究やっちゃおう！
～今年は書道とハーバリウム！～

泉北クリーンセンターで、幼児から中学生が対象の夏休みの宿題や自由研究をサポートするイベントを開催。リサイクルビンのおしゃれなハーバリウム作り教室や資源ごみを再利用したエコおもちゃ作りで、楽しくエコについて学びましょう。

日時 7月29日日 午前9時30分～午後3時30分
場所 泉北環境整備施設組合（高石市取石6-9-40）
対象 幼児から中学生
定員 ハーバリウム作り教室（予約制 定員32人・500円）・書道教室（JA 共済全国小・中学校書道コンクール課題も可（半紙・条幅）予約制 定員24人）
参加費 無料（一部有料講座有）
申込・問合せ 7月2日月より泉北クリーンセンターへ（☎41・2030）<http://www.senbokukankyo-ichikumi.org/>

4つのRを学ぶエコバスツアー

4Rってなあに…？

- ①いらないものを断る（Refuse）
 - ②減らす（Reduce）
 - ③繰り返し使う（Reuse）
 - ④再生し利用する（Recycle）
- の4つのRから始まる言葉。

日時 7月25日水 午前9時～午後4時ごろ
行先 大阪いずみ市民生活協同組合、大阪ガス（ガス科学館・泉北製造所）
対象 小・中学生（小学1～4年生は保護者同伴）
定員 先着40人 ※昨年度未受講者優先
持物 お弁当（必ず持参、購入場所はありません）・水筒・タオル・筆記用具・雨具（雨天時）
申込・問合せ 7月10日火午前9時から環境課へ（電話申込のみ）※定員に達しない場合は、12日木午前9時から既受講者の申し込みを受け付け

総合体育館の夏休み子どもスポーツ短期教室 受講者募集！

夏休みの期間中、下表のスポーツコースに参加する市内の小学生を募集します。
申込 ▷郵送：往復はがきに教室名を明記のうえ①受講者名（ふりがな）、②性別、③学年、④電話番号、⑤水泳コースのみ子どもの状況をできるだけ詳しく記入し、返信用にも申込者の住所・氏名を記入のうえ、総合体育館（〒595-0013 宮町2-50）へ ※郵送の場合は10日火の消印有効
 ▷窓口：返信用はがき（62円）に申込者の住所・氏名を記入し持参のうえ、総合体育館の窓口で用紙に記入
締切 7月10日火 ※各コース、はがき1枚に対して1人1教室の申し込みです。定員を超えた場合は抽選になります。

教室名	運動能力ステップアップコース 運動会に間に合そう！走・跳の動作、反射神経、体幹、リズム感を総合的に身につけよう！	
日時	7月31日・8月1日・2日（3日間） 午前10時～11時	
場所	総合体育館	
定員	30人	
対象	▷小学4～6年生 ▷3日間休まず参加できる	
受講料	450円（別途任意保険料810円）	

夏休みに「できる」をふやそう！

教室名	水 泳 コ ー ス	て つ ぼ う コ ー ス		と び 箱 コ ー ス	
日 時	7月26日(木)～29日(日)(4日間) 午前9時30分～11時30分	7月24日(火)～27日(金)(4日間) 学年で時間帯が変わります		8月7日(火)～10日(金)(4日間) 学年で時間帯が変わります	
場 所	条南小学校プール	総合体育館			
定 員	50人	各40人		各40人	
対 象	▷小学1～3年生 ▷5m以上泳げない(顔つけが できない子どもを優先) ▷4日間休まず参加できる	▷小学1年生	▷小学2～3年生	▷小学1年生	▷小学2～3年生
		午前9時45分～ 10時45分	午前11時～正午	午前9時45分～ 10時45分	午前11時～正午
		▷逆上がりができない ▷4日間休まず参加できる		▷とび箱2段が跳べない ▷4日間休まず参加できる	
受講料	1,000円(保険料を含む)	いずれも600円(別途任意保険料810円)			



みんな
待ってるよ～

7月1日開場

助松プール

開場期間 7月1日（日）、7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）、16日（祝）、20日（金）21日（土）～8月16日（木）の間毎日、18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日） 午前10時～午後5時 ※7月20日（金）のみ午後1時～5時
利用料金 大人500円 小人（中学生以下）100円 ※3歳以下無料
問合せ 都市づくり政策課みどり推進係（市役所2階24番窓口）

人権くらしの相談課の講座（☎33・1131）

子ども向け消費者講座 テコポッキー教室とおやつクイズ！

子どもたちの毎日の食生活において「見て」「聴いて」「確かめ」「体験」しながら、消費生活について楽しく学べるように子ども向け消費者講座を開催します。

日時 7月24日（火） 午後1時～3時
場所 市役所3階大会議室
対象 小学1～4年生 原則保護者同伴（中学生以下可）
 ※アレルギー…小麦・乳・大豆・ゼラチン
 ※ポッキーの製造ラインでは、卵・そば・ピーナッツ・えびかにを含む製品を生産しています。アレルギーをお

持ちの人はご注意ください。
定員 申込先着60人
講師 江崎グリコ㈱
申込 7月13日（金）までに人権くらしの相談課（市役所1階11番窓口）へ電話申込



パパ・ママ集合！！今しかできない子育てを楽しもう！

夏休み工作教室「ペンギン貯金箱を作ろう」

にんじんサロンでお子さんと一緒に「牛乳パックのペンギン貯金箱」を作りませんか！

日時 7月28日（土） 午前の部 10時～11時30分
 午後の部 1時～2時30分（2部制）
場所 にんじんサロン（図書館2階）
対象 小学生と保護者
定員 各先着5組
持物 のり・ハサミ
申込・問合せ 7月11日（水）午前9時30分から直接またはお電話でにんじんサロンへ（☎21・6555）



手づくり講座「グリーティングカードを作りました」

グリーティングカードとは、プレゼントに添えるメッセージカードです。小学生以上のお子さんやお孫さんと一緒に参加できます。

日時 7月27日（金） 午前10時～正午
場所 にんじんサロン（図書館2階）
定員 先着10人
一時保育 先着3人（1歳から未就学児。7月20日（金）までに申し込み）
持物 ハサミ・ものさし・カッター（ある人のみ）
講師 浜田 正子氏
申込・問合せ 7月10日（火）午前9時30分から直接または電話でにんじんサロンへ（☎21・6555）

地域貢献事業

小学生夏休み 無料ゴルフ体験 市内企業も子どもたちの夏休みを応援！

ヨドコウゴルフセンターでは、地域貢献活動の一つとして、小学校6年生にレッスンプロによる無料ゴルフ体験を実施します。夏休みの思い出に参加してみませんか。

日時 8月8日（水） 午前10時～正午
場所 ヨドコウゴルフセンター（青葉町2-1）
対象 市内在住・在学の小学校6年生
定員 申込先着20人
内容 施設見学・打球練習体験・バター体験
申込・問合せ ヨドコウゴルフセンター（☎32・6510）



歴史を魅了する女性天皇

～二度皇位についた女帝、孝謙・称徳の生きざまをたどる

7月22日(日)午後2時～3時30分（1時開場）
玉岡かおる氏（小説家、大阪芸術大学教授）

場所 テクスピア大阪 入場無料 500人（当日先着順）

一時保育 先着5人（7/9月までに申込） 南海電鉄後援 問合 秘書広報課（市役所4階）

兵庫県三木市生まれ。神戸女学院大学卒。2年間、中学校の教職に就いた後、文筆業に。子育て中の昭和62年、『夢食い魚のブル・グッドバイ』で神戸文学賞を受賞し、文壇にデビュー。平成9年には『をんな紋 まろびだす川』が山本周五郎賞候補作に入り、平成21年『お家さん』で織田作之助賞に輝きました。

主に歴史に埋もれた女性の人生に光を当ててきました。ほかの主な著書は、のれんを背負い、日本が優れた芸術の国であることを世界に知らしめた明治おんな繁盛記『花になるらん』をはじめ、『天平の女帝、孝謙称徳』『天涯の船』『銀のみち一条』『ひこぼえに咲く』『虹、つどつべし』『ウエディングドレス』『タカラジエヌの太平洋戦争』など。

加古川市に在住。テレビのコメントーターとしても生きる力や個性を重んじる観点から教育、社会問題に深く切り込んで活躍しました。加古川市特別文化賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞を受賞。現在、兵庫県教育委員のほか、（社）日本河川協会理事、兵庫県美術館運営会議委員など行政の委員も数多く務めています。



凜とした女帝の真の姿！

今度の講演について玉岡さんは「孝謙（称徳）天皇は道鏡とのスキャンダルばかり語られますが、奈良に仏教王土を築き、遣唐使を派遣し、藤原仲麻呂の乱を鎮め、平和な世を願った実力者です。歴史で軽んじられてきた、負のイメージを取り払いたかったのが執筆の動機です。彼女が何に苦しみ、どう生きたか、同じ女性としてお話したいと思います」と話しています。

募集のお知らせ

人気絵本「100 かいだて」シリーズの
いわいとしお さんがやってくる！

9月の文化フォーラム 親子参加者募集！
読み聞かせ＆ワークショップ
みんなでつくろう「100 かいだてのいえ」

9月9日、子どもに大人気の絵本作家でメディアアーティストのいわいとしおさんをお迎えして、参加者全員で「行ってみたい家、住んでみたい家」を描き、それをつないで「100 かいだてのいえ」を作ります。親子100組約200人を募集します。

日時 9月9日(日) 午後2時～3時30分 場所 テクスピア大阪

対象 親子100組200人（事前申込）※申込多数の場合、泉大津市民を優先して抽選。

申込期限 8月8日(火)必着。（持ち物など詳細は市ホームページ、広報紙8月号に掲載）

申込方法 往復はがきに①保護者と子ども（小学生以下の子ども2人まで）の名前、②年齢・学年、③住所、④電話番号を書いて〒595－8686（住所記載不要）秘書広報課「絵本ワークショップ係」まで（返信用にもあて先、保護者名を書いてください）

おまつりのステージを盛り上げませんか？ キッズグループ募集します

子どものためのフェスティバル「ごかんのおまつり」で、日ごろ、頑張っているダンスや音楽などを発表しましょう！
日時 11月24日(土) 午後2時～
場所 テクスピア大阪
対象 主な活動を市内で行っている団体で、ステージで発表できる文化活動を行っている団体。例）ダンス、バンドなど
定員 1団体につき3人以上30人以内
出演時間 1団体15分以内（舞台登場から退場まで）
申込・問合 7月31日(火)までに郵送・ファクス（33・0670）・

メール（syougaigakusyuu@city.izumiotsu.osaka.jp）にて①団体名、②代表者氏名、③電話番号、④住所、⑤発表したい内容（50字程度）を明記のうえ、〒595－8686〈住所記載不要〉生涯学習課「文化祭キッズステージ」係へ



↑踊りを披露するキッズグループ

夏から冬の親子参加型！食の体験活動 保健センター（☎33・8181）

第9回・わくわく食育体験☆参加者募集

植える、自分で育てて収穫する、調理して食べるなど色々な食の体験活動を通して、食への興味や規則正しい生活習慣、食生活づくりを親子で楽しみながら身に付けましょう！

実施期間 7月～12月

日時 オリエンテーション：

7月28日(土)午前中（栽培活動用品の配付）

親子クッキング：

11月10日(土)午前中（栽培作物を使った調理実習）

食育イベント「わくわく祭り」：

12月8日(土)午前中（収穫を祝ったお祭り）

場所 保健センター

対象 中学生までの子どもと親（祖父母可）

定員 100組

参加費 1組1000円（保健センター窓口で支払い。※印鑑必要）

内容 配付されたプランターなどを使用し、各家庭で栽培活動（スティックにんじん）を行います。体験活動期間中に親子クッキングやJA いずみの主催の米粉パン作り体験（岸和田愛彩ランドで実施）、わくわく祭などイベントが盛りだくさんです。

申込 7月5日(木)から保健センター窓口か電話にて



昨年の
親子クッキング→

夏休みにボランティア体験しませんか？ 社会福祉協議会（☎23・1393）

※受講料はいずれも無料、先着順。7月5日(木)から社協ボランティアセンターへお申し込みください。（電話申込可）

点字体験 目の不自由な人のコミュニケーションの一つである点字で絵本をつくろう。完成の絵本は持って帰れます。

日時 7月24日(火) 午前10時～正午

対象 小学3年生～中学生 定員 10人

持物 筆記用具 講師 点字サークル「にじ」

紙芝居を作ってみよう 世界でひとつの紙芝居をつくりませんか？

日時 7月26日(木)・27日(金)・30日(月) 午後1時30分～3時30分

対象 3歳児～中学生

定員 15人

持物 絵の具、クレヨンまたはクレパス（日常絵を描く時に使っているもの）、水入れ、筆、新聞紙（5枚）・筆記用具（6B～4Bの鉛筆）、雑巾（2枚）※汚れても良い服装

講師 紙芝居ボランティア「みずすまし」



車椅子操作とガイド体験 アイマスクなどを使い、ガイド体験をしたり、車椅子の操作を学習しませんか？

日時 7月31日(火) 午前10時～11時30分

対象 小学4～6年生（保護者も参加可）

定員 20人

講師 ガイドヘルパー「一歩の会」



手話を学んでみよう 手話で話してみよう【手話体験】手話コーラスと指文字などで気持ちの表現をしてみよう

日時 8月2日(木)・9日(木) 午後2時～3時30分

対象 小学3年生～中学生 定員 20人

持物 筆記用具 講師 手話サークル「こひつじ」

朗読を体験してみよう 目の不自由な人たちのコミュニケーション手段のひとつである朗読・音訳体験。発声練習や自分の声の録音（絵本の朗読）をしてみよう

日時 8月2日(木)・3日(金) 午前10時～正午

対象 小学3～6年生 定員 10人

持物 筆記用具

講師 朗読ボランティア「あめんぼ」

「ハートちゃん」を作ろう 社会福祉協議会イメージキャラクター「ハートちゃん」を作りませんか？

日時 8月7日(火) 午前10時30分～11時30分

対象 5歳児～中学生 ※小学校低学年までは保護者同伴

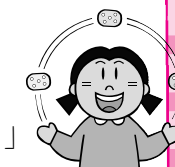
定員 15人 講師 さわる絵本グループ「そよかせ」

「お手玉」を作ってみよう 昔なつかしいお手玉と一緒に作りませんか？

日時 8月7日(火) 午後1時30分～3時

対象 小学4～6年生 定員 10人

講師 介護用品作成ボランティア「さくらそう」



筆記通訳を体験してみよう 聴覚障がい者の人が情報を知る手段のひとつである筆談要約筆記とパソコン要約筆記の体験をしてみませんか？

日時 8月20日(月) 午前10時～11時30分

対象 小学4年生～中学生 定員 10人

持物 筆記用具 講師 筆記通訳サークル「ファイト」



開催場所はいずれも総合福祉センター



セーフコミュニティ活動の推進母体 ～推進協議会～

推進協議会

泉大津市セーフコミュニティの組織の一つに「推進協議会」があります。

推進協議会は、本市のセーフコミュニティ活動の方向性を協議・決定する推進母体となる組織で、福祉、教育、自治関係といった安全・安心に関する活動を行う地域団体や、警察、消防をはじめとする行政機関など 32 団体の代表者で構成されています。

5 月 16 日には、第 11 回推進協議会を開催し、分野別対策委員会で行われている取り組みや各委員会で作成した啓発グッズ・リーフレットの紹介など、これまでの本市の活動経過や今年度の活動方針について確認しました。

セーフコミュニティ (SC) とは？

100%安全なまちの証しではなく！

泉大津市のみんなが
継続的・体系的に
まちの安全向上に取組む

基盤

が整った・機能している！

(出典：日本セーフコミュニティ推進機構 2018 年 5 月 16 日講演資料)

32 団体の代表者が集まり報告・協議



また、セーフコミュニティ活動への理解を深めるため、本市の活動を支援する日本セーフコミュニティ推進機構の白石代表理事から「安全なまちづくりツールとしてのセーフコミュニティ」と題して講演が行われました。

継続的に安全・安心のまちづくりに取り組むための基盤が整ったとする“認証”の意味合い、安全診断から目標と現状の把握・共有を行い、課題解決に向けて取り組みを展開するセーフコミュニティ活動のサイクルなどについて、他自治体での取組事例も交えて講演をいただきました。

また、それぞれの取り組みの情報共有や情報発信の協力など、今後の推進協議会の活動に向けてのアドバイスもありました。

～住宅用火災警報器が未設置の高齢者世帯へ～

消防本部では、火災から高齢者の命を守るため、泉大津市火災予防協会の協力により、次のとおり住宅用火災警報器（煙感知式）1 個を**無料**で配布・設置します。

◎公募対象者（市内在住）先着 100 世帯

15 分程度の住宅防火の訪問にご協力いただける人で

○65 歳以上のひとり暮らし世帯

○65 歳以上の夫婦世帯

○65 歳以上の人と同居する世帯

※公営住宅や老人福祉施設などに住民登録している場合は、対象外となります。

◎申請方法

8 月 1 日（水）午前 9 時より消防署予防係へ
直接来署または、電話連絡

※取り付け日については、直接ご本人に電話連絡し住宅防火訪問の日程調整をさせていただきます。

消防署予防係
電話または直接来署

申請

設置により早期に気づき、大事に至らなかった事例もあります。



消防署からご本人に日程調整のご連絡

正しい火気の
取り扱いや住
宅防火のお話
約 15 分



申込・問合せ 消防署 予防係 ☎33・4482（内線 21 番）



災害時の被害の減少をめざして

避難行動要支援者の支援制度を進めています

東日本大震災の教訓を今後に生かし、災害対策の強化を図るため、市では要介護者や障がいのある人などで災害時に自力で避難が困難な人（避難行動要支援者）の支援制度として、「避難行動要支援者支援制度」を進めています。

下記登録対象者のほか、希望者の登録も随時受け付けていますので、災害時の避難に不安がある人などは是非ご登録ください。

登録は下記問い合わせ窓口で受け付けているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【問合せ】危機管理課（市役所 4 階）、高齢介護課（市役所 1 階 8 番窓口）、障がい福祉課（同 9 番窓口）、生活福祉課（同 7 番窓口）、子育て応援課（同 3 番窓口）



↑市ホームページ

① どんな制度？

この支援制度に登録申請（同意）をいただいた人の名簿情報（住所、氏名、生年月日など）を地域の避難支援者（自治会、自主防災組織、民生委員、福祉委員など）へ提供し、災害時の避難支援や安否確認などに役立てるとともに、平常時の地域での見守り活動などにもつなげるものです。



② だれが対象者？

次のいずれかに該当し、生活の基盤が自宅にあり、家族などの支援が困難で避難に何らかの支援を必要とする人

- 介護保険要介護者 3・4・5 の人
- 身体障がい者 1・2 級の人
- 知的障がい者（療育手帳 A）の人
- 精神障がい者保健福祉手帳 1 級の人
- 生活保護受給世帯で災害発生時に援護が必要な人の保護者とその子
- 上記以外で本人からの申し出または市が災害時に支援が必要と認めた人

ネットワーク型災害協定

災害時に相互に助け合う協定を 21 市 1 町で結んでいます

災害時の応急対策や復旧措置などで広域連携を図るため、関東・中部・近畿・中国・四国・九州の 21 市 1 町（本市含む）の自治体で「市町村広域災害ネットワーク災害時相互応援に関する協定」を結んでいます。

協定は、22 自治体のいずれかで地震などの大規模災害が発生し、被災自治体独自では十分な応急対策などが実施できない場合に、締結先の自治体が支援することを目指としています。支援内容は、食料・生活必需物資の供給や、各種資機材の提供、医療機関への被災傷病者や避難者の受け入れ、応急支援活動に必要な職員の派遣などとなっています。

「顔の見える」を協定のキャッチフレーズとし、定期的に首長会議や防災担当者会議を開催しています。



H30.6.4 首長会議の様子

市町村広域災害ネットワーク災害時相互応援に関する協定を締結している市・町



◎自治会連合会役員

◎自治会長 が決まりました！

平成 30 年度の各自治会の会長が決まりました。また、各自治会間の連携強化を図るために組織されている自治会連合会の役員も決定しましたので、お知らせします。

問合 市民協働推進課（市役所 4 階）

■自治会連合会役員（敬称略）

役 職	校 区	自治会名	氏 名
会 長	旭	下条町	大 久 保 學
副 会 長	浜	小松町	横 田 勝 久
	条東	森町	川 上 良 雄
	楠	楠町西	小 堀 正 利
会 計	戎東	本町	三 田 忠 雄
書 記	戎西	下之町	黒 田 勝
総 務	穴師	池浦町	高 寺 壽
会計監査	上條	浜助松	久 保 勉
	条南	寿町	浅 野 重 秋
	戎西	清水町	建 川 嗣 光
	戎東	田中町	山 下 義 孝
	旭	下条町中	橋 本 正 三
	浜	松之浜町	楠 本 英 治
	穴師	豊中町	辻 川 寛
	楠	板原町	木 戸 伸 男
	上條	助松町	植 村 福 見
	条東	千原町	田 中 勝
理 事	条南	北豊中 2 丁目	後 藤 年 芳

■各自治会の会長（敬称略）

校区	自治会名	氏 名
戎 西	河原町	森 田 聖 人
	清水町	建 川 嗣 光
	西港町	三 平 恵 一
	下之町	黒 田 勝
戎 東	高津町	辻 野 清 春
	上之町	曾 根 勝 保 夫
	戎町	着 本 和 雄
	本町	三 田 忠 雄
	神明町	釜 下 隆 夫
	東港町	道 正 田 孝 男
	若宮町	増 沢 季 正
	田中町	山 下 義 孝
旭	式内町	川 崎 春 夫
	府営式内住宅	羽 野 栄 城
	旭町	平 松 泰 男
	昭和町	竹 田 友 治
	東雲町	丸 谷 正 八 郎
	下条町	大 久 保 學
	宇多	笹 井 保
	虫取	前 田 憲 明
	下条町中	橋 本 正 三
	さつき団地	平 田 悦 子
	ディオフェルティ泉大津	田 代 尚 子
	アルザ	薮 英 昭
	リーベスト泉大津	数 山 勇
テスハイムガーデンズ泉大津	山 下 高 広	
浜	菅原町	村 田 一 美

校区	自治会名	氏 名
浜	春日町	梅 津 司
	小松町	横 田 勝 久
	松之浜町	楠 本 英 治
	なぎさ町一番館	大 隅 弘 道
	なぎさ住宅	高 島 幸 矢
	なぎさ町 2 番	野 村 浩
穴 師	池浦町	高 寺 壽
	府営要池住宅	永 尾 正 保
	我孫子	小 門 孝 仁
	豊中町	辻 川 寛
	東豊中町上	奥 村 吉 弘
	穴田	藤 井 幹 生
楠	板原町	木 戸 伸 男
	新宇多	石 井 勝
	虫取市営住宅	竹 山 政 市
	宇多之庄	高 井 英 一 郎
	楠町西	小 堀 正 利
	板原リバーサイド	中 西 亮
上 條	助松町	植 村 福 見
	浜助松	久 保 勉
	助松ハイツ	八 田 一 正
	上条	榎 本 稔
	府営東助松住宅	和 田 義 美
	助森	神 名 泰 一
	東助松町 3 丁目	樽 井 昭 治
	東助松町 4 丁目	堀 口 浩

校区	自治会名	氏 名
上 條	東助松四一四	山 下 節 明
	CF ロイヤルガーデン	豊 田 隆 造
	助松団地	片 芝 清
	千原町	田 中 勝
	森町	川 上 良 雄
	南曾根	青 山 政 利
条 東	北曾根	北 嘉 等
	尾井千原町	池 田 正 孝
	末広町	西 野 久 好
	森第一住宅	下 園 博 志
	新森	三 好 秀 樹
	森北商店会	藤 江 英 伸
条 南	北助松第一次団地	松 尾 満 雄
	北助松第二次住宅	中 間 亮 三
	北助松第四次団地	喜 島 保 夫
	寿町	浅 野 重 秋
	宮町	八 木 利 武
	二田町	米 田 英 信
	池園町	出 来 忠
	条南町	坪 野 敏 治
	北豊中町 1 丁目	橋 本 達 也
	北豊中 2 丁目	後 藤 年 芳
	北豊中町 3 丁目	大 西 正 純
	グランコート泉大津Ⅱ	下 峠 澄 子



地域のつながりの大切さが見直されています

地域の絆を育む 自治会

東日本大震災や熊本地震などの災害を経験した今、私たちは人との絆の大切さをいっそう考えるようになりました。その絆を育む身近な組織として自治会があります。加入に関するご相談は市民協働推進課（市役所 4 階）まで。

【自治会が果たしている役割】

①安心・安全なまちづくり ～災害時や犯罪から地域を守る

▷防災・減災

阪神淡路大震災では、倒壊した家屋から多くの人々が救出されましたが、その多くは自治会の人たちによるものでした。いざというときに備えて、自治会では日ごろから訓練を実施しています。また、会員の情報を元に行動できるので、迅速な対応をとることができます。

▷防犯灯や見守り隊

夜のまちを明るく照らす防犯灯が市内に約 3,800 灯ありますが、そのほとんどの設置、維持管理は自治会が行っています。また、これまでに市内で 149 基の防犯カメラを自治会が設置しました。そのほか下校する子どもの見守りや、年末夜警など、地域の安全なまちづくりを担っています。



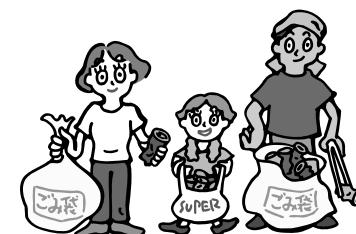
防災訓練での炊き出し

②地域の衛生活動 ～資源ごみ無料回収を取りまとめ



地域の清掃活動

自治会では、市内一斉清掃「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加して地域の清掃活動を行ったり、資源ごみの無料回収を実施する自治会もあるなど、まちの美化に大きく貢献しています。



③地域情報の提供 ～地域情報満載の回覧など

回覧板や広報いずみおおつの配布などを通じて地域の情報を届けるのも自治会の役割です。特に、回覧板にはその地域に密接した情報が満載で住民にとって有益なものとなっています。その他にも地域の交流・親睦を図るイベントの開催なども多くの自治会で行われています。

戦争と平和についてのパネル展

～平和パネル展～

戦争の悲惨さ、愚かさなど、戦争の残した教訓を次世代に引き継ぐとともに、平和の大切さを多くの人に感じてもらうため、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真」をテーマに下記の日程でパネル展を行います。

日時 8月1日(水)～6日(月)（5日は日曜開庁）

場所 市役所 1 階市民ロビー

内容 「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真」をテーマとしたパネル展示



↑ 昨年の平和パネル展の様子

戦争と平和について再考

平和メッセージ展

～うちわ作品約 900 点展示

市民の皆さんにご応募いただいた平和をテーマとしたうちわ作品約 900 点と、戦没者遺族会による展示をする平和メッセージ展を開催します。

日時 7月10日(火)～17日(火) 午前10時～午後8時（ただし17日は午後3時まで）

場所 アルザ 1 階、2 階回廊

- ・ 8月6日、9日、15日にサイレン吹鳴
- ・ 戦争で犠牲となった人々に対する鎮魂、また、全世界から戦争と核兵器の永久追放を願い、市役所のサイレンを 1 分間鳴らします。黙とうをささげましょう。
- ・ サイレン吹鳴日時
- ・ 8月6日(月) 午前8時15分、9日(木) 午前11時2分、15日(水) 正午
- ・ 問合 人権くらしの相談課（市役所 1 階 11 番窓口）

市立病院からのお知らせ



←病院 HP はこちら

「看護の日」のイベントを開催しました

ナイチンゲールの誕生日に制定された「看護の日」にちなみ、5月11日、看護の心を市民の皆さんに広く知ってもらうためのイベントをいずみおおつCITYアトリウムで開催しました。当日は、看護師が血管年齢やBMIなどを測定する健康チェックや、医療相談をはじめ、育児相談・お薬相談・栄養相談なども無料で行いました。おづみんも登場し、多くの参加者でにぎわいました。

また、同時に、市民の皆さんから募集していた川柳の各賞の発表も行い、受賞者には表彰状と記念品を贈呈しました。



～看護の心をみんなの心に～

～整形外科常勤医師が3名体制に～

市立病院では4月に新たに2名の整形外科医師が着任し、3名体制で診療に当たっています。

今回着任しました、仲 哲史医師は五十肩（肩関節周囲炎）や肩腱板断裂、習慣性肩関節脱臼などの肩関節外科を専門としており、鳥飼大剛医師は膝・股関節に対する人工関節を得意としています。

また整形外科一般外傷（骨折、脱臼、アキレス腱断裂、捻挫など）にも精通しており、診療に当たっています。

外傷疾患や加齢とともに生じる変性疾患、炎症疾患への対応がより充実しました。



仲 哲史 医師



鳥飼大剛 医師

7月の市民公開講座の案内

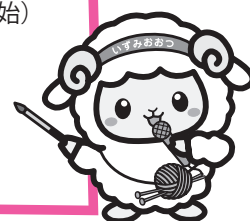
7月の講座は、呼吸器内科医師による「**たばこと病気**」です。

「たばこはどうして体に悪いといわれているのか?」「吸い続けるとどんな病気になりやすいのか?」「禁煙の効果は?」など、当院呼吸器内科医師が、たばこが体に及ぼす影響や病気との関係について分かりやすくお話しします。



中濱賢治 医師

日時 7月31日(火) 午後2時～3時（午後1時30分受付開始）
場所 市立病院
講師 中濱 賢治（呼吸器内科医師）
問合 市立病院総務課（☎32・5622）



市民活動を
応援します！

がんばる市民公益活動補助金

～1年間の活動を終えて～



各団体が1年間の活動を報告

市では市民の自発的な活動を支援し、市民公益活動を活発にすることを目的に、その事業費の一部または全額を補助する公募型補助金制度を実施しています。

平成29年度に「がんばる市民公益活動応援補助金」の交付を受けた7事業が、5月12日に開催された報告会（公開プレゼンテーション方式）において、1年間の活動実績を報告しました。

平成29年度に交付を受けた7事業のうち、5事業について平成30年度は**当補助金を頼らず団体自身の力で運営していくという結果に結びつきました。**

今後も、泉大津市は、さらなる市民活動活性化のために、がんばる市民公益活動を行う団体を応援します！！

当補助金制度を活用した団体からの声



この補助金制度があることは、活動団体としてとても助かっています。
今後も、**活動団体が自立していける**ような制度となってほしいと思います。

ただ補助金が得られるということだけでなく、**市から活動の広報やさまざまなサポート**が得られることもありがたいです。

また、**団体の信用度アップ**にもつながり、活動の幅が広がりました。



補助金をいただくことで、**責任をもって事業に取り組むことができました。**
この補助金制度は本当に「**がんばる市民公益活動団体**」のための制度だと思います。
地域で**同じように地域活動をがんばっている人とつながり**が持て、良い刺激になりました。



平成30年度は下記の7事業に決まりました！！

団体名 / 事業名（順不同）	事業内容
幼稚園・保育所 体育あそび事業 ／こども体育あそびnet.	市内公立幼稚園や保育所に通う子どもたちに運動の場を提供することで、身体を動かすことに積極的な健やかな子どもを育成する。
食育推進事業 ／松下食育農業塾	親子参加でジャガイモなどの植え付けや収穫などを行い、食育を通じて思いやりの心をはぐくむ。
地域の触れ合いと支え合いを実現する事業 ／特定非営利活動法人 泉大津市 和花	地域の高齢者や子育て中の人などが気軽に立ち寄れる憩いの場を作り、地域で互いに助け合い、支え合う仕組みを作る。
アルザ通りまちづくり協議会事業 ／アルザ通りまちづくり協議会	アルザ通りにイルミネーションを灯すことで、まちのにぎわい創出と地域の活性化を促進する。
OZU スポタイム ／泉大津市総合型地域スポーツクラブ OZU スポ	小学校の体育館を活用し、子どもが気軽にスポーツに参加できる環境を提供することで、運動の楽しさを伝え、体力の向上や地域の絆づくりを図る。
南公民館キッズプロジェクト「南公民館で遊ぼう!」第三弾 ／泉大津市南公民館 キッズプロジェクト実行委員会	公民館の活性化を目的としたイベントの企画立案を子ども自身が実施することで、魅力あるまちづくりと子どもたちの健全育成を図る。
地域在住の外国人への国際協力・国際交流事業 ／つばさ国際交流クラブ	日本語ボランティア養成講座などを開催し、言語面でのサポートや交流の機会を創出することで国際交流・多民族共生を実践する。



がんばろう基金へ寄附のご協力をお願いします

「がんばる市民公益活動応援補助金」は、市民と行政とで公益的な活動をしている市民団体を応援するため、皆さんからいただいた寄附と、市の積立金からなる「泉大津市がんばろう基金」を活用しています。寄附のご協力をお願いします。



70 歳になった 国保加入者の皆さんへ 高齢受給者証が交付されます

国民健康保険の加入者が 70 歳になった翌月（1 日
が誕生日の人はその月）から高齢受給者証の対象者とな
ります。

70 歳になった人には、誕生月の月末に高齢受給者
証を送付します。現在、高齢受給者証をお持ちの人
には 7 月末に新しい高齢受給者証を送付しますので、8
月からは新しい高齢受給者証を保険証とともに医療機

関に提示してください。

■「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付

低所得Ⅰ・Ⅱの人は、入院するときや高額の外來診
療を受ける場合、国民健康保険証・印鑑をお持ちのう
え 8 月以降に「限度額適用・標準負担額減額認定証」
の申請をしてください。

問合 保険年金課（市役所 1 階 6 番窓口）

■ 高齢受給者証を持つ被保険者の医療費の自己負担割合（所得区分によって異なる）

所得区分	所得区分の判定基準	負担割合
現役並み所得者	同一世帯に住民税課税所得が 145 万円以上となる 70 歳以上の国保被 保険者がいる人（注 1）。ただし、70 歳以上の国保被保険者の収入の 合計が、2 人以上の場合で 520 万円未満、1 人の場合は 383 万円未 満である場合、申請により「一般」区分と同様になります。（注 1）	3 割
一般（現役並み所得者および低所得Ⅰ・Ⅱに該当しない人）		2 割 （誕生日が昭和 19 年 4 月 1 日までの 人は 1 割）
低所得Ⅱ	同一世帯の世帯主と、国保被保険者が住民税非課税の人 （低所得Ⅰ以外の人）	
低所得Ⅰ	同一世帯の世帯主と国保被保険者が住民税非課税でその世帯の各所得 が必要経費・控除（年金の所得は控除額を 80 万円として計算）を差 し引いたときに 0 となる人 年収例：単身世帯（年金収入のみ）80 万円以下	

（注 1） 同一世帯に後期高齢者医療制度に移行する人がいて、現役並み所得者となった国保被保険者が一人の場合、住民税課税
所得が 145 万円以上かつ収入が 383 万円以上で、後期高齢者医療制度に移行した人も含めた収入合計が 520 万円未満である人は、
申請により一般区分と同様になります。

※所得に応じて自己負担割合などが決まりますので、忘れずに所得の申告をしてください。
（所得の申告がなされていないと、全て「一般」区分と判定されます）

◎障がい基礎年金の所得状況届

◎保険料免除申請

◎国民年金基金

国民年金からのお知らせ

問合 保険年金課（市役所 1 階 6 番窓口）
日本年金機構堺西年金事務所（☎072・243・7900）

7 月は障がい基礎年金の所得状況届の提出月です

20 歳前の障がいによる障がい基礎年金、または旧障がい福祉年金から切り替わった障がい基礎年金を受けている人は、
日本年金機構から届く所得状況届（現況届）のはがきを期日までに保険年金課へ提出してください（郵送可）。提出が遅
れると 10 月分の障がい基礎年金の振り込みが遅れる場合があります。なお、平成 30 年 1 月 2 日以降に転入した人は、
平成 30 年度所得証明書の提出が必要となります。

平成 30 年度 国民年金免除申請の受付を開始

平成 30 年度（平成 30 年 7 月～平成 31 年 6 月分）国
民年金保険料の免除申請を受け付けます。また、平成 29
年度の免除が承認されていて、引き続き免除を受けたい
人のうち、継続審査対象者以外の人は再度申請が必要で
す。7 月に日本年金機構から届く納付書に同封されてい
る申請書に記入・押印のうえ返送するか、窓口で手続き
をしてください。窓口に来られる際は、年金手帳・認め
印（退職を理由とする場合は離職票なども）をご持参く
ださい。

国民年金基金のご案内

国民年金基金は、少しでもゆとりある老後を過ごすこ
とができるように国民年金法の規定に基づき、国民年金
（老齢基礎年金）の上乗せとして給付する公的な個人年金
制度です。

20 歳以上 60 歳未満の国民年金の第 1 号保険者で国民
年金保険料を納めている人、または 60 歳以上 65 歳未満
の人や海外に居住している人で国民年金に任意加入され
ている人が加入できます。掛金額は一定で、全額社会保
険料控除の対象となる税法上のメリットがあり、受け取
る年金にも公的年金等控除が適用されます。

問合 大阪国民年金基金（☎0120・65・4192）

介護保険からのお知らせ

問合 高齢介護課（市役所 1 階 9 番窓口）

■納入通知書を送付します

65 歳以上の人の平成 30 年度介護保険料が確定しま
した。納入通知書（納付書）は、7 月初旬に各家庭に
直接送付しますので、内容をご確認ください。
なお、保険料を納付書で納めていただくほか、口座振
替制度があります。納め忘れがなく便利です。ぜひご
利用ください。

■介護保険料の減免制度があります

保険料段階が第 2・3 段階の人で、一定の条件を満
たす場合は、介護保険料の減免を受けられます。詳し
くは、決定通知書に同封しましたお知らせをご覧ください。

▶申請に必要なもの

減免対象者本人の印鑑、介護保険証、健康保険証、世
帯全員の預金通帳など世帯全員の給与証明書や年金の
支払い通知など前年中の所得のわかるもの。
また、この減免のほかに、介護保険給付において、食費・
居住費の特例減額措置を受けている場合や失業や災害
など、やむを得ない事情により介護保険料の納付が困
難になった場合などに、保険料の減免を受けられるこ
とがあります。窓口にご相談ください。

■介護保険負担割合証について

平成 30 年 8 月からの介護保険負担割合証（桃色）を、
要支援・要介護の認定を受けている人、事業対象者該
当の人全員に、郵送にて 7 月末までに交付します。
※有効期限の過ぎた負担割合証は、ご自身で裁断し破
棄していただくか市役所高齢介護課にご返却ください。

■平成 30 年 8 月から 利用者の負担割合が 1 割～3 割に

介護サービスを利用した時の負担割合について、これ
までは 1 割または一定以上の所得のある人は 2 割となっ
ていましたが、平成 30 年 8 月からは、65 歳以上の人で、
合計所得金額が 220 万円以上の人は 3 割となります。

ただし、合計所得金額が 220 万円以上であっても、世
帯の 65 歳以上の人の「年金収入とその他の合計所得金額」
の合計が単身で 340 万円、2 人以上の世帯で 463 万円
未満の場合は、2 割負担または 1 割負担となります。

あしゆびプロジェクト通信 Vol.1

～鼻緒のある履物であしゆびを鍛えよう～

現在、市では、あしゆびをきたえる一つの取り組みとして、市職員に
鼻緒のついた草履や雪駄などの着用を推奨することで、市内外に広く PR
を行っています。

この取り組みは、NHK や新聞各紙で大きく取り上げられるなど、注目
を浴びています。

今後、就学前児童の健康な体づくりや高齢者の転倒防止などを含めた
市民の健康づくりを推進するため、あしゆび体操プログラムを作成して
いきます。

皆さんも「あしゆび」をきたえて健康づくりを実践してみませんか。



草履やたび型シューズを履く市職員

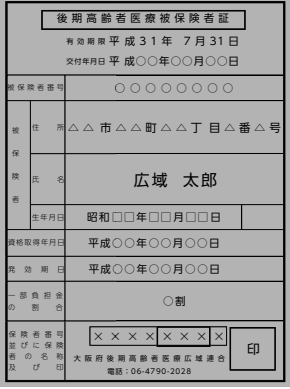
あしゆびプロジェクトとは…

市では、健康寿命の延伸を足指の健康から展開する研究プロジェクトを官民連携で進め、
高齢者の転倒防止など市民の健康づくりと幼児教育モデルを全国へ発信していきます。

後期高齢者医療制度のお知らせ

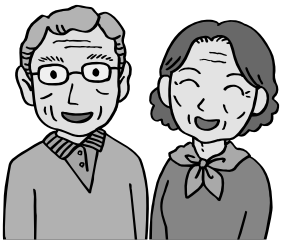
後期高齢者医療被保険者証が水色に変わります

新しい被保険者証は、7月初旬から順次、簡易書留で送ります。
新しい被保険者証（水色）は、届いたときからご使用いただけます。
有効期限の過ぎた被保険者証（桃色）は、保険年金課へお返しいただくか
ご自身での破棄をお願いします。



後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証の更新

限度額適用・標準負担額減額認定証（減額認定証）は、医療機関に入院や通院した際に窓口で提示すると、1か月の医療費や食事代の負担が軽減されるもので、住民税非課税世帯の被保険者が対象となります。
有効期限が平成 30 年 7 月 31 日の減額認定証をすでにお持ちの人で、平成 30 年度も引き続き住民税非課税世帯の場合には、新しい減額認定証を 7 月下旬にお送りしますので、改めて手続きをする必要はありません。
これまで交付を受けていなかった人でも、対象となり交付を希望される場合は、随時、保険年金課窓口で申請することができます。
平成 30 年 8 月から現役並み所得区分の細分化により、現役並み所得者区分Ⅱ・Ⅰの方には、限度額適用認定書を発行しますので、医療機関などの窓口で被保険者証と併せてご提示ください。
※交付申請は、7 月から窓口にて受け付けします。



お問い合わせはこちら

- ◎制度全般に関することは府後期高齢者医療広域連合事務局へ
▷保険料、被保険者資格、被保険者証などに関すること…資格管理課
(☎06・4790・2028) ▷給付事務、保健事業、医療費通知、レセプト点検に関すること…給付課 (☎06・4790・2031)
- ◎保険料の納付、その他各種届出に関することは保険年金課へ
(市役所 1 階 6 番窓口)



後期高齢者医療保険料の決定

平成 30 年度保険料額決定通知書および納入通知書を 7 月中旬に送付しますので、内容をご確認ください。

■保険料の納入方法

①「特別徴収」 年金からのお支払い

年額 18 万円以上の年金を受給されている人は、原則年 6 回の年金受給の際に、保険料が差し引かれます。
※特別徴収（年金からのお支払い）を口座振替に変更することができます。

希望される人は、手続きが必要ですので、保険年金課窓口でご相談ください。

②「普通徴収」 納付書などでお支払い

特別徴収の対象とならない人は、口座振替や納付書により 7 月から翌年 3 月までの 9 期で保険料を納めていただきます。

保険医療機関などでの自己負担割合

平成 30 年度の住民税課税所得額が 145 万円以上の被保険者、世帯に属する被保険者は、すべて 3 割負担です。

3 割負担と判定された場合でも、平成 29 年中の収入額が 383 万円未満の単身者世帯と被保険者と 70 歳以上の人を含む 2 人以上の世帯で収入の合計額が 520 万円未満の場合は保険年金課に申請すれば、1 割負担となります。

70 歳以上の国民健康保険被保険者

・後期高齢者医療被保険者の皆さんへ

高額療養費上限額が変わります

平成 30 年 8 月から下表のとおり自己負担限度額が変わります

問合 保険年金課（市役所 1 階 6 番窓口）

■70 歳以上 自己負担限度額とその基準

平成 30 年 7 月まで

所得区分	自己負担限度額（月額）	
	外来 （個人ごと）	外来＋入院 （世帯ごと）
現役並所得者	5 万 7,600 円	8 万 100 円 ＋1%（注1） （4 万 4,400 円 （注 4））
一般	1 万 4,000 円 年間上限 14 万 4,000 円	5 万 7,600 円 （4 万 4,400 円 （注 4））
低所得Ⅱ	8,000 円	2 万 4,600 円
低所得Ⅰ		1 万 5,000 円

➡

平成 30 年 8 月以降

所得区分			自己負担限度額（月額）	
			外来 （個人ごと）	外来＋入院 （世帯ごと）
現役並所得者	Ⅲ	課税所得 690 万円以上	25 万 2,600 円＋1%（注 2） （14 万 100 円（注 4））	
	Ⅱ	課税所得 380 万円以上	16 万 7,400 円＋1%（注 3） （9 万 3,000 円（注 4））	
	Ⅰ	課税所得 145 万円以上	8 万 100 円＋1%（注 1） （4 万 4,400 円（注 4））	
一般			1 万 8,000 円 年間上限 14 万 4,000 円	5 万 7,600 円 （4 万 4,400 円 （注 4））
低所得Ⅱ			8,000 円	2 万 4,600 円
低所得Ⅰ				1 万 5,000 円

- （注 1）医療費が 26 万 7,000 円を超えた場合の超過額の 1%にあたる額。
（注 2）医療費が 84 万 2,000 円を超えた場合の超過額の 1%にあたる額。
（注 3）医療費が 55 万 8,000 円を超えた場合の超過額の 1%にあたる額。
（注 4）被保険者が高額療養費に該当した月から直近 1 年間に、世帯単位で 3 回以上高額療養費に該当した場合の 4 回目以降の額（他の医療保険での支給回数は通算されません。）



松之浜町自治会の「松風サロン」が

『知っておきたい高齢介護』を開催しました

5 月 26 日、松之浜長寿園において、松之浜町自治会主催「松風サロン」で『知っておきたい高齢介護』～高齢介護事業・施設について～の説明会があり、多くの人の参加がありました。

高齢化が進む中、誰もが不安に思いながらも、なかなか聞けない介護のこと。どこに相談したらいいの？ 泉大津市にはどんな施設があるの？ どう違うの？ 費用はどれだけいるの？ など、市高齢介護課職員や特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホーム・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅の担当者から、わかりやすく説明していただきました。



問合 福祉政策課（市役所 1 階 8 番窓口）